

関西支部（インカレ）予選 大会レポート

9月29,30日の2日間、愛知県知多市新舞子浜で関西支部予選が開催されました。11月5～7日に沖縄県で開催される、全日本ボードセイリング選手権大会（インカレ）への出場権を獲得するべく、総勢107人の選手が参加しました。台風18号の影響が心配されましたが、2日間無事レースを行うことができました。

大会初日は、朝から風が安定せず、無風に近い中ではありましたが、4レースが行われました。この日のレースでは、微風域を得意とする京都・滋賀・滋賀県立・同志社・立命館大学の選手が上位を独占しました。特に、昨年この大会で準優勝している、滋賀県立大学の鈴木郁也選手（3年）はこの日、全レーストップフィニッシュするなど、他を寄せ付けぬ圧倒的な走りを見せ、インカレ出場をほぼ確実なものにしました。レディースクラスでは、同志社大学の堀野舞歩選手が安定した走りで1位になりました。

大会2日目は、夕方から夜にかけて台風が東海地方に上陸する予報が出ていたため、影響が弱い、午前中に2レースを行い、大会は終了しました。1レース目では、同志社大学2年の小野川瑞季選手がトップフィニッシュ。それに（昨日トップだった）鈴木選手が続きました。3,4年生も数多く参加した本大会で、2年の小野川選手が彼らを抑えてトップフィニッシュした瞬間、ビーチで応援する同志社大学のチームメイトからは歓声が上がりました。また、このレース終了時点で、鈴木選手の優勝が確定しました。最終レースでは、滋賀県立大学4年で、ナショナルチームキャプテンの永野祐大選手が圧巻の走りでトップフィニッシュしました。レディースクラスでは、1レース目で関西学院大学2年の小田口知可選手が男子に混じった中、8位でフィニッシュし、レディースの中では断トツの1位でした。最終レースでは、またも2年生がトップフィニッシュします。同志社大学の清水理沙選手が、（前日トップだった）先輩の堀野選手を抑えレディースクラス1位に輝きました。

2日間のレースを終え、メンズクラスでは鈴木郁也選手（滋賀県立・3）が優勝、レディースクラスでは堀野舞歩選手（同志社・3）が優勝という結果になりました。団体の部では滋賀県立大学が優勝しました。

今回の大会に向けて、各大学は出場選手全員の予選突破を目標にして、夏休みの間練習を重ねてきました。そのため、どの大学も大会にかける思いは並々ならぬものがあり、レース前にはビーチで円陣を組み、一致団結する姿が見られました。このように、本大会は、普段のレースとは異なる緊張感が漂う中で進行しました。閉会式での予選通過者発表の際には、どの選手も、自分の名前が呼ばれるのを今か今かと待ち構える姿が見られました。本大会の結果、男子48人、女子15人のインカレ出場が確定しました。これらの選手は、1か月後のインカレに向け、最後の調整を行うこととなります。厳しい予選を突破しただけに、インカレでの関西勢の走りに期待がかかります。

本大会を開催するにあたり、レースコミッティをしていただいた前地達郎様、ご協力いただいた知多フリースタイル様・エアボーン様、協賛していただいたJUCOLA様・BicSports様・あずま亭様・ADVANCED TECHNOLOGY LIMITED様・HighWind様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

学生ボードセイリング連盟関西支部 支部長
大阪大学3年
佐藤 駿